



平成19年3月期

第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月5日

上場会社名 日本製箔株式会社

（コード番号：5739 東証・大証2部）

（URL <http://www.nihonseihaku.co.jp>）

代表者 役職名 取締役社長 氏名 重村 郁雄

問合せ先責任者 役職名 取締役執行役員管理部長 氏名 中村 幸一 TEL：(03) 5212 1751

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- ・税効果等については、一部簡便的な方法を採用しております。
- ・その他影響額が僅少なものについては、一部簡便的な手続きによっております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切り捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	21,151	6.9	355	41.9	346	42.8	104	63.2
18年3月期第3四半期	19,781	2.8	611	39.8	605	37.0	283	61.1
(参考)18年3月期	26,091	-	525	-	535	-	34	-

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	4.35	-
18年3月期第3四半期	11.81	-
(参考)18年3月期	1.43	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における売上高は、アルミ地金価格の高騰により前年同期比6.9%増加し、21,151百万円となりました。損益につきましては、製品価格への転嫁が不十分であったため、営業利益で355百万円、経常利益で346百万円、当四半期純利益で104百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切り捨て）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	23,401	6,062	25.9	252.80
18年3月期第3四半期	23,295	6,445	27.7	268.77
(参考)18年3月期	22,980	6,054	26.3	252.45

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切り捨て）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	967	201	386	1,309
18年3月期第3四半期	750	34	493	1,236
(参考)18年3月期	1,340	699	962	2,091

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ7億82百万円減少し、13億9百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の収支は、9億67百万円の支出となりました。これは、独禁法課徴金引当金の減少3億70百万円、売上債権の増加10億38百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の収支は、2億1百万円の支出となりました。これは、投資有価証券の取得による支出79百万円、有形固定資産の取得による支出1億31百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の収支は、3億86百万円の収入となりました。これは長期借入金の返済による支出5億96百万円を計上しましたが、長期借入による収入7億50百万円等がこれを上回ったことによるものであります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の通期業績予想につきましては、中間決算発表時（平成18年11月6日）の予想と比較すると、アルミ地金価格の高騰があります。現在、通期業績予想の見直しをしていますので、通期業績見通しが明らかになり次第、公表いたします。